

形で市民の意向が出てくるようになったら、やっぱり市民の意見を尊重しなければいけないという立場だけは理解していただきたいんですね。

原口管理者：北本市さん、何かございますか。

三宮副管理者：先ほど私の方はそれぞれその行政の生い立ちに若干の違いがあるということの中で言えば、私どもはその類する土地を持っていないということの現況というか、考え方の中ではこの前の議論、うちの方の議論の中で様々ありました。土地の選定と言うことではなくて、例えばあの周辺のどの土地を取ってみても、基盤がおそらく深いところは何千メートルいってもやっぱり同じような基盤にぶつかるのは、秩父の山みたいなところにぶつかるのは、やっぱりそういうことなんだろうと。それは私も市史をやっていただけに、地理とかそういうことを少しもう一回調べてみました。県史の自然、地理編とか調べてみて、ほぼ私どもの高台とかそれはまた別なんですけれども、そういうところと言えば土地の条件は、どちらに行ったとしても、そう変りなくそれなりのやっぱり費用がかかるんだろうなということからすると、一概に私どもは「じゃあこの土地がいいですよ」と言うわけにもいきませんので、土地についてはそういうこれまでの経緯の中で決まったとすれば、それはそれで瑕疵があるわけではないとして、その土地でよろしいということでございます。

原口管理者：今、北本市さんの方からも発言がございました。まさに私もこの3市の合意と言うのをしっかりと進めていくということで、今までもお話をさせていただき、意見を言わせていただきました。ここで行田市さんの方で、何とかこの今の建設地で納得してもらえないかというふうに私は思うんですけれども、この辺についてはいかがですか。

石井副管理者：その前にちょっといいですか。確認だけいいですか。北本市の市長さんに伺いますけど、現在の安養寺でいいっていうことですね。これだけちょっと確認させてください。

三宮副管理者：様々な私どものこれまで9月にその書類が出てきまして、ずっと考えさせていただきました。最終的には、ごく最近ここでよろしいという判断させていただきました。

石井副管理者：だからはっきり言ってください。いいですか。安養寺でいいかどうかだけ。

三宮副管理者：そのことで私の方は、今朝、事務局にその通知をさせていただきました。

石井副管理者：いいっていうことでね。

三宮副管理者：そうです。

石井副管理者：私の方はやっぱり本当にもうそういう形で選挙管理委員会の方にも出て、選挙管理委員会に正式な文書が出るともう明らかに認めなくてはならないので、その方向に進んで行くわけですよ。ということはもう明らかにそういうような署名だっけと集まってくるでしょうから、そうするとその動きを止めることはできない。そうするとそれに従った形のある程度市民の声と言うのは大事にしなくちゃいけない。ですから私の方ではこのまま、私の一存で決めるのではなく、やはり市民の意向をきちんと確認をしたいと、というような形を取っていきますのでよろしくお願いします。

原口管理者：分かりました。もうこの議論については、もうこの組合の中で散々議論してきたなと私は思っております。そういう中で行田市さんの方向性っていうのが全く見えない、そういう状況ですよ。これから市民の意見を聞く、あるいは市長としての判断をしないということであれば、私はこの3市でこのまま継続して協議をしても、私はいたずらに時間・期限が延びるだけであって、今の状況でいい方向っていうのは全く見えない、そのように判断をいたします。そういう中で新ごみ処理施設の建設、この共同事務ということは今まで一生懸命やってきましたけれども、せっかく北本市さんが賛成していただいたことを大変深く受け止める。あるいは地域の皆さん、あるいは議会の皆さんもこれでいいんだということはずっと言ってるわけですので、それを行田市の方で「それはいかがなものか」ということであれば、この3市の合意ってことをまさに疑義があるということであれば、ここで一旦私は、この3市の合意あるいは3市で協議をしている部分、これを解消した方がいいのではないかと思います。これ以上は、この経過の中で少しそれぞれの施設についても老朽化しておりますので、これは早期に完成させることも、かなり重要な事、そういう中での合意や協定を結んできたわけですので、そこがなかなか方向性が見いだせないということであれば、私の方では解消と言いましたけれども、白紙に戻して、この3市の組合というものを考えていかななくてはいけないなと思いますけれども。

いかがですか。よろしいですか。

石井副管理者：ただちょっと問題点があるのが、今現在処理をしているわけですよ。その中に3市でって形が本来別だったらもっとわかるんですけども、今現在小針の方でごみ処理をやっているわけで、それはそれでどっちにしたって残さなければならぬわけで、ですからその辺の方がはっきりしてくれるといいなと思ってるんですけどもね。それがないとこの3市の枠組みが壊れましたっていうだけであつたら改めて小針はどうするんだという結論が出てない限り出来ないと思うんですけどもね。

原口管理者：結論といいますか、この新施設の建設について白紙に戻すということですから、

当然私どもでは吹上のごみを本当に申し訳ないですけれども小針にお願いをしている。そういう状況の中ではその辺についてはそのまま残していただくっていうのは、もちろん1番の重要な条件になってくるかなと…

石井副管理者：その辺も含めて、事務方の方でやってくれるとありがたいんですけどもね。私がおの今ここでこうするべきだなんていうんじゃなくて、事務方の方である程度きちんと方向性を出してくれると1番いいんだけどね…

原口管理者：建設についてのということですから、当然…

石井副管理者：そのやり方だってね、

原口管理者：そのやり方についてはもちろん事務局に…

石井副管理者：そちらの方である程度練ってもらった方が1番いいと思ってるんですけどね。確かに市長さんのいう面もあると思うんですよ。こんなに本当に決められないっていう行田市があるってことがあるんでしょうけどね。でも実際に市民の意見っていうのはどうしても私の場合は一報聞きたいっていうことがあるから、その意味では是非そういうこともひっくるめた形で、その3市の事務方の方でこれだけのリスクじゃないかって話もちょっとさせてくれると、今の市長さんの意見も入れながら考えてくれるとありがたいなと思うんですけどね。行田市はともかく本当にこうやって住民の直接請求権っていう形になってくると、それを全く無視ってわけにもいけないと思っておりますのでね。

原口管理者：先ほど北本市さんには正直に答えていただいて大変恐縮なんですけれども、今後3市で協議をするのはここで一旦白紙にさせていただいて、そして今あるこの小針クリーンセンターの方については行田市と鴻巣市で負担の協議をしなくてはならないというのはただあります。そういうことで北本市さんの方にもご了解をいただければありがたいなと思うんですけども。

三宮副管理者：それについて私は、当事者にならないだろうと思っておりますので決めていただいて…

原口管理者：協議については白紙にするということで私の方はそのように考えておりますので、ここで一旦白紙にさせていただいて、そして今後のいろんな処理については、事務局の方にもう一回再検討、いろいろな問題・課題がありますのでそれらについて進めさせていただければなと思います。

それでは事務局、次の議題のその他について説明頂けますか。

山崎事務局長：それでは、今の協議の結果を受けましてその他の方で、新年度の予算の関係で先月の22日には、参与並びに各構成市の財政説明会を一旦させていただいています。その内容は今のスケジュールにのっとった形での予算組となっていますので、今日先ほど協議いただいた結果を受けまして、予算の組み替えをしていく必要があります。そうしますと大きく施設整備費のところは3市の共通した新ごみ処理施設の経費となりますので、そちらについては新年度事業の分についてはすべて組み換えで落とすというような方向となるかと思えます。あとは、その委託関係で清算部分というのが若干残るかもしれませんが、ちょっと急な結果ですので、こちら早急にですね、事務局の方で精査させていただいて、年内にはそれを固めませんと各構成市の負担金の割合、構成市の新年度予算の方にも影響が出ますので、年内にそれぞれ各市長の方に出向いて、説明をさせていただければというふうに考えていますが、そういった方向でよろしいでしょうか。早急にそういった方向で作業を進めたいというふうに考えています。以上です。

原口管理者：それから、私の方から、これ北本市さんには関係ないんですけども、お手元に資料を渡させていただきました。小針クリーンセンターの負担割合の見直しということでは、結局このごみ焼却施設、新ごみ焼却施設の建設に当たっての負担割合について様々な検討をしてきたんですけども、その中でこの北本市さん、行田市さん、また鴻巣市と3市でいろいろ協議をしました。負担割合について、私どもは今小針クリーンセンターでやっている負担割合と同じく均等割を3割ということで主張をしてきたんですけども、それはおかしいだろうということで行田市・北本市から反対の意見、せめて15%。本来であれば1割ではないかということもありました。それらについて私の方では小針クリーンセンターの負担割合と同じような形でしてほしいということで、お願いしたんですけども、それぞれの市の方ではそれはいかなものかということでありまして、今回、この小針クリーンセンターの負担割合の見直し、均等割を15%、そして処理料割を残りの85%、こういう形でお願いができればありがたいなというそんな思いで提案をさせていただければなと思っております。当然これはすぐに決定することはできませんので、これらについて石井市長にはこの議会等の関係もございますので、そちらの方で少し協議をしていただければありがたいというふうに思っておりますので、今日は提案ということで出させていただきますので、お願いいたします。

石井副管理者：提案に対して一つだけ言わせてください。過去の経緯がずっとあるわけだから、その辺の所を踏まえてもらって、そして実際に今後事業が進んで行くと、廃炉の計画だとか、またあそこに埋まっている生ごみ、多分ご存じだと思うんですけどね、この間、調べたら25億円かかるなんて、燃やしてもらおうとね、そんな話もあるんで、そういうのもひっ

くるめた形で1度話してくれるとありがたいなと。ただこれも事務方でちょっと話し合っ
て、額の経緯だとかもちょっとそういうのも踏まえながらやってくれるといいなと思っ
ております。

原口管理者：事務局のほう、何かございますか。

山崎事務局長：他はございません。

原口管理者：それでは本当に正副管理者会議、遅い時間をお願いして大変恐縮でございます
けれども、先ほど申し上げたとおり、3市の方向性がなかなか見いだせない。行田市の考
え方というのはなかなか変えていただけないということでございますので、今後におきま
してはこの協議については、白紙・解消ということで今日決定をさせていただきますので、よ
ろしくお願いいたします。よろしいですか。

一同

(了承)

原口管理者：ありがとうございます。では、今後のスケジュール等あるいは、今後の課題等
については、事務局の方にしっかりと進めていただいて、またそれぞれのご意見等伺えら
ばと思っております。また、この白紙ということになりますのでこのメディア等にも報告を
しなくてはなりません。それぞれの議会にも、当然地域の皆さんにも報告しなくては
いけないわけでございます。メディア等については私の方から、まあ行田市さん、北本市さん
からでも結構でございますけれども、報告をさせていただくのがこれ重要であります。
議会の方にも調整をしていただきますことお願いをいたしまして正副管理者会議の座長
を終わらせていただきます。ありがとうございました。